



(1)  $f(x) = e^x - 1 - (-x + e)$  とおく。

$f'(x) = e^x + 1 > 0$  であるので、 $f(x)$  は単調増加である。また、 $f(1) = 0$  である。

以上より、 $C_1$  と  $l$  はただ 1 点  $(1, e - 1)$  を共有する。

(2)  $C_2$  を表す方程式は  $y = \log(x + 1)$  である。

$$V_1 = \pi \int_0^1 (e^x - 1)^2 dx + \pi \int_1^{e-1} (-x + e)^2 dx - \pi \int_0^{e-1} \{\log(x + 1)\}^2 dx$$

これを解いて、

$$V_1 = \frac{\pi}{6} (2e^3 - 3e^2 - 12e + 23)$$

である。

(3)  $C_1$  上の点  $P(t, e^t - 1)$  ( $0 \leq t \leq 1$ )

から直線  $m$  に垂線  $PH$  を下ろし、 $OH = u$  とおく。

また、 $P$  を通り、 $x$  軸に垂直な直線と直線  $m$  の交点を  $Q$  とする。

$$V_2 = \pi \int_0^{\frac{\sqrt{2}e}{2}} PH^2 du$$

そして、

$$\begin{aligned} e^t - 1 - \frac{u}{\sqrt{2}} &= \frac{1}{\sqrt{2}} \cdot PH \\ &= \frac{1}{\sqrt{2}} \cdot \frac{|t - (e^t - 1)|}{\sqrt{2}} \\ &= \frac{1}{2}(e^t - t - 1) \end{aligned}$$

より、 $u = \frac{\sqrt{2}}{2}(e^t + t - 1)$  である。

したがって、 $du = \frac{\sqrt{2}}{2}(e^t + 1)dt$  である。

$PH = \frac{e^t - t - 1}{\sqrt{2}}$  であるから、

$$V_2 = \pi \int_0^1 \frac{(e^t - t - 1)^2}{2} \cdot \frac{\sqrt{2}}{2}(e^t + 1)dt$$

である。

これを解いて、

$$V_2 = \frac{\sqrt{2}\pi}{12}(e^3 - 3e^2 + 3)$$

である。

